

# 浦添V2 前に出る守備

## 県高校新人大会

県高校新人体育大会は1日、県内各地で2競技が行われ、ハンドボール女子決勝は浦添が那覇西を30-25で下し、2年連続11度目の優勝を飾った。男子は興南が浦添商業を47-28で破り、17年連続37度目の頂点に立った。

バスケットボールは準々決勝を行い、女子は石川、普天間、北中城、西原が、男子は美来工科、コザ、宜野湾、豊見城がそれぞれ4強入りした。2日にエントリー宜野座アリーナで決勝まで行う。

### ハンドボール

(1日、八重瀬町具志頭社会体育館)

#### 【男子】

▽第3シード決定戦  
コ ザ 47-36 美 里  
△決勝

興 南 47(22-11)28 浦 添 商

#### 【女子】

▽第3シード決定戦  
那 観 国 28-23 コ ザ  
△決勝

浦 添 30(15-14)25 那 観 西

### バスケット

(1日、エントリー宜野座アリーナ)

#### 【男子】

▽準々決勝  
美 来 工 111-73 興 南  
コ ザ 75-73 小 沖  
宣 野 湾 65-63 冲 豊  
見 城 67-63 前 西

#### 【女子】

▽準々決勝  
石 川 68-47 知 念  
普 天 間 71-53 那 観  
北 中 城 80-60 小 沖  
西 原 113-55 K B C

## 全国頂点へ成長誓う

## スポット

女子・浦添は後半に堅守から流れを呼び、30-25で那覇西に競り勝って2連覇。しかし、全国制覇を目指し掲げるチームだけに「攻守でミスが多かった」(又吉叶主将)と、反省の言葉が口を突いた。

那覇西のサイド攻撃を警戒したが、ミドルレンジや守備ラインの裏のスペースを狙われた。互いに点を取り合う均衡した展開で前半を15-14で折り返した。

後半は練習を重ねてきた積極的に前に出る守備が機能し始めた。ゴール前で体を張って突破を防ぐと、ボール保持者にマンツーマンを仕掛けバスマスを誘発。こぼれ球を拾っての速攻も決まり、中盤には24-19と最大5点差に離した。

序盤は不調だったGK仲西涼夏も相手速攻を止めなど連続セーブでチームを鼓舞。終了間際には野底桃伽は縦への速い突破から得点し、「前半は相手守備から逃げたプレーだった。次は最初から強気で攻める」とエースの覚悟を語った。

又吉叶は「シュートミスをなくし、守備でも本来の力を出せるよう練習を徹底したい」と全国をにらみ、成長を誓った。  
(新崎哲史)



女子優勝の蒲添



女子決勝 浦添 那覇西 前半、蒲添の野底桃伽がシュートを放つ=具志頭社会体育館(金城健太撮影)

## 王者興南17連覇

## 堅守速攻で圧倒

16連覇中の王者興南は堅守速攻で浦添商業を47-28と寄せ付けず、連覇を17に伸ばした。

立ち上がりは硬さが出たが、身長188cmの下地叶也を中心に強固な守備で相手攻撃を防ぐと、ボールを奪って次々に速攻を決めた。

味方の退場を機に緊急出場した1年の洲鎌花は、自慢のスピードとたくみなステップでDFをかわしてチーム最多の13得点。サイドの比嘉駿もGKを引き出してのフロータ

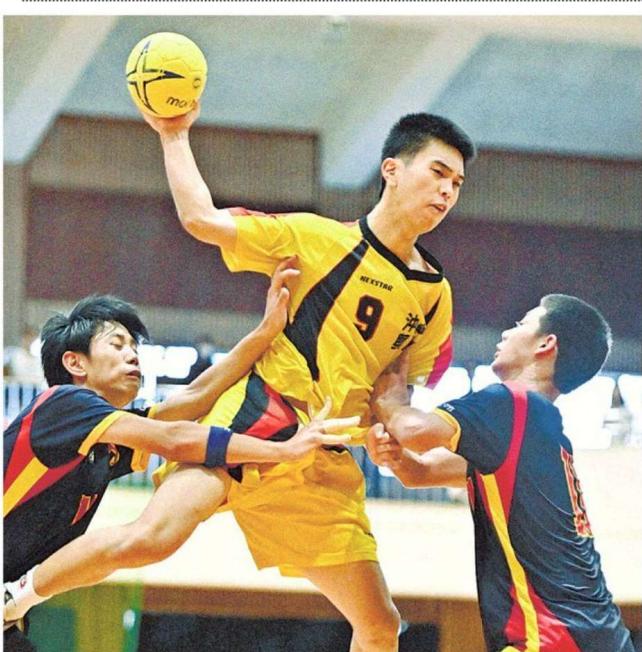
ーシュートを決め、多彩な得点パターンで前半から圧倒した。

後半も選手を入れ替えながら守備の強度を維持し、点差を広げて勝利した。

7月の北海道総体では3回戦で敗れ、8強入りを逃した。全国レベルを体感した比嘉駿稀主将は「まだフィジカルが通用するレベルがない。体を鍛えてハードワークするチームにする」と決意。全国総体優勝を目指し仲間と歩みを進めること。



男子を制した興南



男子決勝 興南-浦添商 後半、興南の洲鎌花が41点目のシュートを決める